

職員の特地勤務手当等の支給に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和八年三月五日

広島県人事委員会

委員長 舩 木 孝 和

広島県人事委員会規則第八号

職員の特地勤務手当等の支給に関する規則の一部を改正する規則

職員の特地勤務手当等の支給に関する規則（昭和四十六年広島県人事委員会規則第六号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>（特地勤務手当の月額）</p> <p>第二条 特地勤務手当の月額は、給料及び扶養手当の月額の合計額に、次の各号に掲げる特地公署の級別区分に応じ、当該各号に定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <ul style="list-style-type: none">一 三級地 百分の六二 二級地 百分の四三 一級地 百分の二 <p>2 前項の特地公署の級別区分は、別表第一に定めるとおり（前条の人事委員会が定める公署にあつては、人事委員会が定める当該公署の級別区分）とする。</p> <p>第四条 削除</p> <p>第五条 （特地勤務手当に準ずる手当）</p> <p>2 給与条例第十四条の三第一項の規定による特地勤務手当に準ずる手当の月額は、給料及び扶養手当の月額の合計額に百分の二を乗じて得た額とする。</p> <p>第六条 （略）</p>	<p>（特地勤務手当の月額）</p> <p>第二条 特地勤務手当の月額は、給料及び扶養手当の月額の合計額（給与条例第五条第五項に規定する定年前再任用短時間勤務職員（以下「定年前再任用短時間勤務職員」という。）にあつては、給料月額）に、別表第一の級別区分欄に掲げる公署の級別区分（前条の人事委員会が定める特地公署にあつては、人事委員会が定める当該公署の級別区分）に応じ、次に定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <ul style="list-style-type: none">一 三級地 百分の六二 二級地 百分の四三 一級地 百分の二 <p>（特地勤務手当と地域手当との調整）</p> <p>第四条 給与条例第十一条の二第二項第三号及び第四号に掲げる地域に所在する特地公署に勤務する職員には、同項の規定による地域手当額の限度において、特地勤務手当は支給しない。</p> <p>第五条 （特地勤務手当に準ずる手当）</p> <p>2 給与条例第十四条の三第一項の規定による特地勤務手当に準ずる手当の月額は、給料及び扶養手当の月額の合計額（定年前再任用短時間勤務職員にあつては、給料月額）に百分の二を乗じて得た額とする。</p> <p>第六条 （略）</p> <p>一 職員の定年等に関する条例（昭和五十九年条例第二十六号、以下「定年条例」という。）第十二条の規定による採用（定年条</p>

一 新たに特地方署又は準特地方署に該当することとなつた公署に在勤する職員でその特地方署又は準特地方署に該当することとなつた日（以下この条において「指定日」という。）前三年以内に、新たに給料表の適用を受ける職員となつて、当該公署に在勤することとなつたことに伴つて住居を移転したものの又は指定日前三年以内に当該公署に異動し、当該異動に伴つて住居を移転したものの

二 新たに給料表の適用を受ける職員となつた者で、新たに給料表の適用を受けることとなつた日（以下この条において「適用日」という。）の前日に在勤していた公署に引き続き在勤することとなつた職員のうち、当該適用日前から引き続き勤務していたものとした場合に、給与条例第十四条の三第二項に規定する新たに特地方署又は準特地方署に該当することとなつた公署に在勤する職員で、指定日前三年以内に当該公署に異動したこと又は新たに給料表の適用を受ける職員となつて当該公署に在勤することとなつたことに伴つて住居を移転したものであるもの（次号に掲げるものを除く。）

三 新たに給料表の適用を受ける職員となつた者で、適用日の前日に給与条例第十四条の三第一項又は第二項の規定による特地方署手当に準ずる手当を支給されていたものうち、当該適用日前から引き続き勤務していたものとした場合に、これらの項の規定による特地方署手当に準ずる手当の支給要件を具備することとなるもの

四 前三号に掲げるもののほか、前三号に規定する職員との権衡上必要がある職員として人事委員会が認めるもの

2

一 新たに給料表の適用を受ける職員となつて特地方署又は準特地方署に在勤することとなつたことに伴つて住居を移転した職員
適用日に特地方署又は準特地方署に異動したものとした場合に前条第一項及び第二項の規定により支給されることとなる期間及び額

二 新たに特地方署又は準特地方署に該当することとなつた公署に在勤する職員で指定日前三年以内に当該公署に異動し、当該異動に伴つて住居を移転したものの、当該職員が指定日に在勤する公署が当該異動の日前

例の規定により退職した日の翌日におけるものに限る。以下この条において同じ。）をされ、特地方署又は準特地方署に在勤することとなつた職員で、当該公署に在勤することとなつたことに伴つて住居を移転したものの

二 新たに特地方署又は準特地方署に該当することとなつた公署に在勤する職員のうちその特地方署又は準特地方署に該当することとなつた日（以下「指定日」という。）前に当該公署に異動し、又は定年条例第十二条の規定による採用をされ、当該異動又は採用に伴つて住居を移転した職員で、指定日において、当該異動又は採用の日から起算して三年を経過していないもの

三 定年条例第十二条の規定による採用をされ、かつ、当該採用の日の前日に在勤していた公署に引き続き在勤することとなつた職員のうち、当該採用の日前から引き続き勤務していたものとした場合に、給与条例第十四条の三第二項に規定する新たに特地方署又は準特地方署に該当することとなつた公署に在勤する職員で、指定日前に当該公署に異動し、当該異動に伴つて住居を移転したもので、指定日において、当該異動の日から起算して三年を経過していないもの

四 定年条例第十二条の規定による採用をされた職員で、当該採用の日の前日に給与条例第十四条の三第一項又は第二項の規定による特地方署手当に準ずる手当を支給されていたものうち、当該採用の日前から引き続き勤務していたものとした場合に、これらの項の規定による特地方署手当に準ずる手当の支給要件を具備することとなるもの

五 前各号に掲げるもののほか、前各号に規定する職員との権衡上必要がある職員として人事委員会が認めるもの

2

一 前項第一号に規定する職員 定年条例第十二条の規定による採用をされた日に特地方署又は準特地方署に異動したものとした場合に前条第一項及び第二項の規定により支給されることとなる期間及び額

<p>に特地公署又は準特地公署に該当していたものとした場合に前条第一項及び第二項の規定により指定日以降支給されることとなる期間及び額</p> <p>三 前項第一号に規定する職員のうち新たに特地公署又は準特地公署に該当することとなつた公署に在勤する職員で指定日前三年以内に、新たに給料表の適用を受ける職員となり、当該公署に在勤することとなつたことに伴つて住居を移転したもの、当該職員の指定日に在勤する公署が適用日前に特地公署又は準特地公署に該当していたものとし、かつ、当該職員が当該適用日に当該公署に異動したものである場合に前条第一項及び第二項の規定により指定日以降支給されることとなる期間及び額</p> <p>四 前項第二号に規定する職員 適用日前から給料表の適用を受ける職員として引き続き勤務していたものとした場合に前条第一項及び第二項の規定により指定日以降支給されることとなる期間及び額</p> <p>五 前項第三号に規定する職員 適用日前から給料表の適用を受ける職員として引き続き勤務していたものとした場合に前条第一項及び第二項又はこの項の規定により当該適用日以降支給されることとなる期間及び額</p> <p>六 前項第四号に規定する職員 別に人事委員会が定める期間及び額</p>	<p>二 前項第二号に規定する職員 当該職員が指定日に在勤する公署が、当該職員の異動の日又は定年条例第十二条の規定による採用をされた日前に特地官署又は準特地官署に該当していたものとし、かつ、当該職員がその日に当該官署に異動したものである場合に前条第一項及び第二項の規定により指定日以降支給されることとなる期間及び額</p> <p>三 前項第三号に規定する職員 当該職員が同号の採用の日前から定年前再任用短時間勤務職員として引き続き勤務していたものとした場合に前条第一項及び第二項の規定により指定日以降支給されることとなる期間及び額</p> <p>四 前項第四号に規定する職員 当該職員が同号の採用の日前から定年前再任用短時間勤務職員として引き続き勤務していたものとした場合に前条第一項及び第二項又はこの項の規定により当該採用の日以降支給されることとなる期間及び額</p> <p>五 前項第五号に規定する職員 別に人事委員会が定める期間及び額</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

附 則

この人事委員会規則は、令和八年四月一日から施行する。